



保護者の皆様へ

2019年度のスタートにあたって

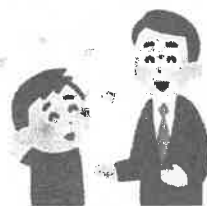
新たな出会いの季節。新入生を迎え、新年度が始まりました。今年9月にはラグビーのワールドカップが日本で開催されます。日本代表には強豪の南アフリカを破った前回大会以上の活躍が期待されていますが、前回大会の日本の快進撃を生んだ要因の1つに日本代表ヘッドコーチのエディー・ジョーンズ氏の考え方があります。

“can't do”で考えるのではなく、“can do”を考える

この言葉は、欠点ではなく、長所や利点に目を向けていく考え方を示しているものだと思います。この言葉にあるように、子どもの良さに目を向け、それを伸ばせるような教育を進めてまいります。子どもが「こんなことができるようになった」と実感し、保護者の皆様と一緒に成長を喜べるような1年になることを心より願っております。

一人ひとりを大切に、自己肯定感を育む教育を進めます！

新しい先生、新しい仲間に出会えた始業式。希望や期待に胸をふくらませた子どもたちが足を踏み入れた新しい教室。子どもたちにとって安心できるあたたかな居場所となるよう、一人ひとりを大切に教育を進めてまいります。また、子どもたち一人ひとりが主役となり、互いに助け合い、認め合う場面を積極的ににつくることによって、自分の存在の尊さを感じ、自己肯定感を高められる教育活動を展開してまいります。



未来を切り拓く力を育む教育を進めます！



今を生きる子どもたちの未来はどのようなようになっていくのでしょうか？近年、知識・情報・技術など、子どもたちを取り巻く環境が加速度的に変化しており、私たち大人がかつて経験したことのない環境の中で子どもたちが生きていくことになります。変化の予測が難しい未来を切り拓き、力強く生きていけるよう、「学ぶ意義を実感し、学んでいることと自己の将来へのつながりを意識しながら、主体的に学び、自ら考える力」を様々な教育活動を通して育ててまいります。

ぜひ家族で話し合ってみてください！

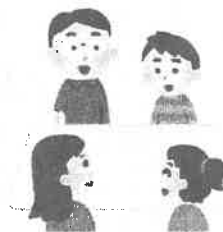
【今年度の目標】について

希望や期待に胸を膨らませているこの時期だからこそ、お子さんがどんな1年になろうと考えているのか、目標について話し合ってみましょう。目標は小さなことから始めても構わないと思います。小さな目標を達成することの積み重ねが、大きな成果につながることを実感させたいものです。

【生活習慣】について

栄養バランスのとれた食事や早寝早起きなど、規則正しい生活を送ることで活力が湧き、様々なことに前向きに取り組むようになり、自己肯定感が高まります。また、家庭学習やゲーム・スマートフォンの使用など、時間の使い方についても考えさせたいものです。

ぜひ、お子さんと1日の生活を見直し、より充実した生活が送れるようアドバイスをお願いします。



《保護者・地域の皆さまへ》
～学校の働き方改革へのご理解・ご協力をお願いします～

いま、社会全体で働き方改革が進められていますが、学校の働き方改革は特に待ったなしの状況です。

皆さまのお住まいの地域の学校は、毎日どのような御様子でしょうか。

朝は子供たちが登校する前の7時すぎから子供たちを迎えるための準備を始め、夜は職員室の明かりが20時前までついていて、土日もグラウンドや体育館で部活動をやっている、これは全国の小・中学校の平均的な姿です。

一人一人の子供たちと丁寧に向き合いたいという思いから、毎日時間に追われて働いているため、先生は他の職業と比べてストレスが高いというデータもあります。

「そのくらいなら、自分の方が働いている!」「忙しいのは先生だけみたいなこと言わないで!」。皆さまから、そんな声が聞こえてくるかもしれません。

ですが、働き方改革が必要なのは先生を楽にするためではありません。学校が、子供たちの未来に直結する場所だからです。

御存じのとおり、これから大きく社会が変わろうとしています。今でもパソコンやスマホ、外国人との仕事や交流など、私たちが子供だったときとは、取り巻く環境が違ってきています。学校は、子供たち一人一人がそんな未来をたくましく生き抜く力を身に付ける場所でなくてはなりません。

きちんと文章が理解できる力、答えのない問題に対し、自分で考え、仲間と協力して取り組む力、知らない人に自分の意見を正確に伝える力、そして英語やプログラミングなど、しっかり子供たちに身に付けさせなくてはなりません。

学校の働き方改革は、これまでの先生の働き方を見直し、毎日元気に子供たちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要なものなのです。先生には、授業やその準備をはじめとした先生にしかできない教育活動に全力投球していただきますよう。

お住まいの地域の学校でも、これから『朝の登校時間を改める』『夜は学校も留守番電話を設置する』『部活動の時間を見直す』『子供の補導時は基本的に保護者に対応いただく』といった取組が始まります。

こうした中、地域全体で子供たちによりよい教育環境を実現するため、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、それぞれ何ができるか考え、連携・分担することが重要です。例えば、保護者や地域の方々などがサポート・スタッフや部活動指導員、ボランティアとして学校に参加する、土日の地域行事や登下校時の見守り、夜間の見回り等は地域が主体的に担うといった取組をこれまで以上に進めていただくことも考えられます。特に、PTAに期待される役割は大きく、学校や地域との役割分担を話し合い、共通理解を得ながら、活動を充実することが大切です。

未来を担うのは子供たちです。子供たちのために我々みんなで取り組んでまいりましょう。子供たちの教育をますます良くする、そのための学校の働き方改革にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

平成31年(2019年)3月18日
文部科学大臣 柴山昌彦